日本共産党京都府議会報告

2022年 4.10 知事選

転換

いのちに本気でよりそう府政へ

新型コロナ 暮らしの悲鳴に応える時

減らされた保健所 元に戻して強化を

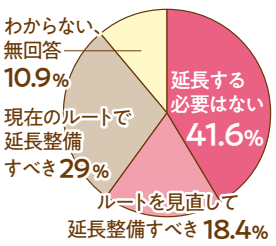
保健所のひっ迫が大問題になったのに、知事は「広域化のメリットが生かされた」と統廃合を合理化。危機的な事態をまともにつかんでいないことも明らかになりました。あまりにも無責任です。いま、再び急速な感染拡大に直面しています。いのちを守る体制の立て直しこそ急務です。

	2003年以前		現在
京都府保健所	12ヵ所	➡	7ヵ所と1支所
京都市内	11ヵ所	➡	1ヵ所

こんなときに大型開発ですか？

2兆1千億円 北陸新幹線延伸

「反対」6割 もう中止しかない！



▲2021年10月31日京都新聞調査

8割がトンネルで、残土処理や地下水への影響など、住民の不安は増すばかり。地元負担がどれだけ膨れ上がるかもわかりません。「国家プロジェクトだから」と、国に追随するだけの知事では困ります。疑問や不安に向きあい、きっぱり中止を求めるべきです。

北山エリア開発

植物園や大学を金儲けの場にするな

府民の憩いの場、落ち着いた文教地域に、1万人規模アリーナなど賑わい施設をつくる開発計画。反対署名が10万筆を超え、元植物園長をはじめ日本中から批判が寄せられています。ようやく開かれた住民説明会では、「これから検討」の一点張り。中身を隠して進めるやり方も許せません。いったん白紙に戻すべきです。

議会報告

京都市下京区

日本共産党 府議5期

西脇いく子

にしわき 郁子

農商工労働常任委員会、府民の安心・安全な暮らしに関する特別委員会

西脇いく子

下京食糧支援プロジェクトの取り組みに相談員として参加しました。（12月12日）

子どもたちが安心して学べる学校に
2万数千筆の署名に応えて教育の充実を

12月6日、教育条件整備を求める請願署名が16,988筆、府立高校の1人1台タブレットの公費負担求める請願署名が6,785筆提出され、私も紹介議員になりました。「夫婦とも非正規なので、7万円ものタブレットの負担は家計に響く」――下京区の食料支援に来ておられたお母さんから、こんな切実な声を聞きました。タブレットが授業に不可欠というなら、公費負担が当然です。

中央郵便局が高さ60mの複合ビルに!?
これ以上の乱開発は許せない

京都駅前の中央郵便局を、ホテル・商業施設などが入る複合施設に再開発する計画が明らかになりました。高さ60mで、32m以内という現在の高さ規制を大きく超えます。これをきっかけに、京都駅周辺の乱開発がさらに加速することが危惧されます。市民の長年の運動で作り、守ってきた景観規制に逆行する計画は、根本から見直すべきです。

「憲法改悪を許さない全国署名」にご協力ください。

署名用紙はこちら▶